



今月の聖句

『兄弟としていつも愛し合いなさい。』

ヘブライ人への手紙 13章 1節

会 長 / 金原 弘 明  
副会長 / 田中 雅 博  
          / 村田 深 砂 子  
書 記 / 柳 慎 司  
          / 五十嵐 由 紀  
会 計 / 山 田 英 樹  
          / 長谷川 幸 昌

## クラブ主題 『Bind!』 —さあ、みんなで30周年を楽しもう!—

- 国際主題:** IP Poul V. Thomsen (デンマーク) “Go Ye Into All the world” 「全ての世界に出て行こう」
- アジア主題:** AP 岡野 泰和 (大阪土佐堀) “Start Future Now” 「未来を始めよう、今すぐに」
- 西日本区主題:** RD 高瀬 稔彦 (岩国みなみ) “Attend club meetings with a clear motive to make the most of them.”  
「志をもって例会に参加し、学びの機会をもちましよう」
- 京都部主題:** DG 桂 厚子 (京都ウエスト) “Let us Join hands!” 「さあ！手を取り合ってワイズの輪を広げましよう！」
- メネット主題:** RSD 谷本久美子 (東広島) 「メネットパワーを結集し、感動をわかちあいましよう！」  
“Let's bring together menettes' power and share the excitement!”



## 30周年期 会長としての1年を終えて

—皆様、本当にありがとうございました—

会 長 金 原 弘 明

30周年期が終わろうとしています。  
「Bind!」という主題を掲げ全員の力を合わせて、という強い思いを持って臨んだ30周年期でした。

毎年毎年行事・事業が増えていく中、30周年の行事も加わり、本当にたくさんの行事が続いた今期を無事こなしていくことが出来たことも、偏にメンバー及びメネットの皆様のご協力のお陰と、本当に感謝いたします。

今期、会長として過ごさせていただいた1年間で、何度も「キャピタルらしさ」という言葉を口にさせていただきました。そして、今期の集大成とも言える30周年記念例会は、それを見事に形にできた例会だったのではと思っております。

そう……様々ある「キャピタルらしさ」の中で、メンバー全員の団結力やチームワーク、まさに「Bind!」する力こそが「キャピタルらしさ」の象徴ではないかと改めて感じています。

京都部の行事など、クラブ外の行事に出席するとき等は、特にそのことを強く感じました。どんな行事に出席するときでも、また行事の役割を与えられるときでも、その安心感の強さは

はキャピタルクラブの会長だからこそものではないでしょうか。まさに会長冥利を味わわせて頂きました。今期は、西日本区へ仁科保雄行政監事、京都部へ八木悠祐広報主査・柳早知子メネット主査を輩出いたしました。この皆様も私が会長として感じた安心感を同様に感じておられたのではないのでしょうか。

それでもクラブにとって30周年は一つの通過点でしかありません。30周年期を経て、志は次の周年期、いや、もっと先のクラブの姿に向ける必要があるのかもしれませんが。

次期では、菅原会長の下、その役目を少しでも担えるメンバーとなるべく努力していきたいと思っております。30周年が終わり、次はアジア地域大会のユースコンボケーションの開催という新たな目標も出来ました。また、皆で思いっきり楽しましよう！

最後となりましたが、全てのメンバーの皆様、メネットの皆様、この一年間クラブの為に多大なご協力を賜り、改めて心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

西日本区  
強調月間

## 6月 評価・計画

クラブが発展するために計画の進捗管理をおこない、成功と失敗の経験と知識をきちんと次期に引き継ぎましよう！  
高瀬稔彦理事 (岩国みなみクラブ)

年間強調  
目標PR

ワイズメンズクラブ内外の人に広く情報を伝えよう。

加藤信一広報事業主任 (京都トップスクラブ)

5 月 報 告	例会出席	BFポイント	ニコニコ	ファンド	献 血	125周年 募 金
	在籍者数 42名	切 手 0g	第一例会 5,000円	合同委員会 5,600円	献 血 0cc	第一例会 0円
	第一例会 31名	現金累計 62,865円	第二例会 33,000円	お楽しみ例会ドリンク販売 10,704円	成 分 0名	第二例会 3,150円
	第二例会 35名	E F 0円	累 計 271,000円	カーネーションファンド 16,210円	累 計 800cc	今期累計 52,510円
	メイクアップ 15名	J W F 0円	東日本大震災復興募金 第一例会 0円	累 計 1,092,372円	成 分 0名	累 計 644,246円
出席率 97.6%	EF・JWF累計 43,200円	第二例会 3,994円				

強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

**5月第一例会** 2014年5月14日(水) 19:00~21:30  
ウェスティン都ホテル京都

## CATT 合同例会

副会長 村田 深砂子

トップスクラブのホストにより CATT 合同例会が開催されました。キャピタル、エイブル、トップス、東稜の4クラブ会長による開会点鐘からはじまり、基調講演には大蔵流狂言師の茂山千三郎様をお迎えし「目立つための狂言の知恵」についてご講演いただきました。

狂言と能の違いについて、骨盤をたてて立つと美しく見えるなど、初対面で判断される会話のテンポや立ち方、座り方について色々ご講演いただきました。

続いて我がクラブの金原会長の食前感謝です！ ちょっと心配しておりましたが……。続いてエイブルクラブの浅森会長の乾杯で懇親会が始まりました。

今年入会された方々のご挨拶を聞き終始和やかに過ぎていき、ハッピーアニバーサリー・ハッピーバースデーもたくさんの方でにぎやかに執り行われ、お開きとなりました。

出席 キャピタル 31名  
エイブル 11名  
トップス 43名  
東 稜 8名



茂山千三郎さんを囲んで  
4クラブ会長

## 京都めいぶるクラブ 30 周年記念例会

幡南 進

平成 26 年 5 月 11 日快晴の中、ウェスティン都ホテル京都にて開催されました。IBC 仁川文鶴クラブ 11 名・台中長春クラブ 16 名を含め約 220 名の参加者です。開会に先立ちご逝去なされたメンバー、韓国での海難事故による沈没船での多くの若者を偲び、黙祷から式典の始まりです。会長挨拶、来賓祝辞と進み、記念事業では、メンバーによるリトセン野外ステージのリニューアルアクトの報告と、スペシャルオリックス日本・京都、社会福祉法人積慶園、社会福祉法人西陣会へ支援金が贈呈されました。

第二部は、NPO 法人勇氣の翼インクルージョン 2015 理事長である細川佳代子さんのご講演です。演題は「インクルージョン～共生社会をめざして～」です。

三部祝宴は、メンバーコメントの参加するトロンバーズによる演奏で始まり、メンバー自家製焼きそばも披露され、非常に楽しい時間を過ごしました。

式典から祝宴まで、全員で準備され大成功されたのが伺える素敵な記念例会でした。中でも細川佳代子さんのご講演に参加者全員が心を打たれた事と思います。

「知的障害を持った人達のよき理解者が、少し手助けする事で幸せな人生が送れる」という言葉と出会い、スペシャルオリックスでの感動のエピソードを聞き目頭が熱くなったのは私だけではなかった事と思います。講演も終わり際のお話です。「障害のある方が幸せになる社会は、世の中全員が幸せになる社会。」「生まれて意味の無い人は誰一人としていない。その為に助け合いが必要。」大変心に響くご講演でした。ありがとうございました。

出席：石倉、岡本・メネット、勝山、金原、香山、菅原、田中(雅)、仁科、幡南、村田、八木、柳・メネット、山口(雅)・メネット 計 16 名

**5月第二例会** 2014年5月20日(火) 19:00~21:00  
ウェスティン都ホテル京都

## Remember 30th 例会

会計 長谷川 幸昌

30 周年記念例会が終わり一ヶ月半。あの興奮と感動をもう一度ということで、この 5 月の第二例会は「Remember 30th 例会」と銘打って 30 周年記念例会を映像で振り返ります。

まずは厳かな雰囲気が進む式典。当日、私は舞台を背にカメラを構えていたので、舞台の上と舞台袖のキャピタルメンバーの雄姿を改めて確認。

第二部の懇親会も当日はカメラとタップダンスで手一杯だったので、ゆっくりお客様気分その様子を楽しむことができました。

個人的には反省することも多かったタップダンス。一糸乱れながらも、躍動感あふれる舞台に我ながら感動。ダンスの後の「最高に楽しい」という手ごたえはウソでなかった。

そして映像が終わった時の高揚感。メンバー全員の「ニコニコ」と笑顔。会長の熱い挨拶。改めてキャピタルの凄さとメンバーでよかったことを実感。メンバーゲストとしてご参加頂いた勝部様。初対面とは思えない親近感を感じるビジュアルとノリの良さ。

35 周年も素晴らしいメンバーを加えて、迎えたいと強く思った例会でした。

## 京都 YMCA 創立 125 周年記念事業 大盛況のかもがわチャリティーラン

田中 升 啓

GW が終わった後、気候も徐々に上昇してきた 5 月 18 日の日曜日、今年も恒例の「第 10 回京都 YMCA チャリティーラン」が開催されました。

今年もキャピタルクラブはドリンク販売の担当です。午前中からぐんぐん気温も上昇し、予想以上の売れ行きに開会した後しばらくしたら、もう売り切れのピンチです。森常夫さんに追加で買い出しに行っていたら、その後に幡南さんにもさらに追加で買い出しに行ってください、何とか閉会まで販売を続けることができました。

特に後半はペットボトルの分が全て売り切れたので、山田隆之 Y サ委員長の作戦通り？アイスコーヒーが大盛況でした。

また、今回キャピタルクラブからは 10 名がコース審判としてランナーの誘導に努めたのですが、この日の日差しの強さで、私も帰ってから日焼けしていたのには驚きました。本格的な夏の日差しになる前の、いい感じの気候の中、みんなですごく楽しい一日を過ごせました！

参加人数 約 1,000 名(ランナー 727 名含)  
協賛金 約 140 万円



## 今 最も楽しんでる事！

### ファンド委員長の『絆』づくり

石倉 尚

今、5年振りの事業委員長、ファンドをオモイッキリ楽しんでいます。

目標を数字で明らかにする、これほど結果が明白なものはない。ものを売る、ムツカシイ。喜ばれるものを！何だ？買っていいかな……というものはある。目標！100万円！利益率1割で1000万円、2割で500万円売るとは負担が大きすぎる。利益率を上げないと、おサイフからお金がドバーッと出てしまうことになる。

そこでオークション、カラオケ、麻雀大会を開催し、おサイフにやさしく且つ収益の高い事業を展開する。大変ではあるが、実に楽しくもやりごたえのあるものである。そのためにBF・EF・JWF、物品販売、お楽しみファンド、オークション、お祝いファンド、宝くじ、合同委員会と多くの協力をお願いすることとなった。「ひとつでゴメン」と義理で。「その日あかんのや」とすぐに返信。これで充分です。そこには気持ちがかもっているのです。

職場でカーネーションを勧めてくれたり、委員会を合同にしてくださいたり、本当にありがとうございます。この関係が絆をより強くより深くより濃くしていくのだと思います。

すなわち、私にとって「今、最も楽しんでる事！」は、この『絆』だと思えます。

### フェイスブック

神崎 清一

最もというのは語弊がありますが、日頃は電車、バスに乗ることが多く、その間は新聞や雑誌をとぎれとぎれに読んでいたのが、学生時代からの長いスタイルでした。しかし、携帯電話、スマートホンに進化していく中で、SNSが急速に、様々な形式で拡大ならびに拡充されていきました。

そんな状況下で、3年前にFB、つまりフェイスブックを始めました。最初の一年は見るだけで何もせず、二年目からは「いいね！」をクリック。3年目の昨年あたりからはYMCAとして、YMCAの公人であり少し私人の部分も出しながら、情報発信のツールとして活用しています。

最近では、趣味は「いいね！」をすることとも答えています。YMCA、ワイズ、ボランティア関係の情報が共有できる優れた道具です。勿論、道具ですから課題もあり限界があります。そして、使いこなすことで世界が広がり、遠くにいる人の情報も瞬時に、疎遠になっている人とも日常の事象が頻りに共有することができます。

「あなたにとっての絆とは！」に応えられる絆を広げ、深め、確実なものにするこの1つのツールとして、楽しんでます。

## この原稿を書きながら…

西川 欽一

以前、時間に余裕があったときは、釣りが楽しくって仕方がなく、釣り仲間が忙しくて行けないときでも、一人で三重の尾鷲まで磯釣りに出かけていたものです。しかし、最近、年齢のせいなのか、徐々に休みが取れても、体を休めることに時間を費やしてしまっております。

「今、最も楽しんでる事」というお題をいただいて、強いて楽しんでることと言えば「クラブ活動」でしょうか？もちろん「夜の」ではありません。キャピタルクラブの活動です。

メタセコイヤフェスティバルで鯛をさばっていた時に、自分が思っていたより下手くそになっておりましたので、考えてみると、久方ぶりに魚に触れたことに気づきました。このクラブ活動を楽しむことも継続していきますが、趣味である磯釣りを、もっと楽しめるよう、仕事を頑張ってこなして時間を作っていきたいものだと実感しました。

クラブの行事もひと段落つき、季節はこれから梅雨の時期に入ります。梅雨の時期の磯は、「梅雨グレ」といって強引きのグレ（標準和名「メジナ」）が結構釣れるので意外と賑わいます。次の休みには尾鷲の磯に立ち、太平洋の前にグレと格闘している自分を想像していることを、たった今、この原稿を書きながら楽しんでます。

## あなたにとっての絆とは！

### 家族の絆

山田 英樹

先日の仕事と同じ職場で働く家内に小さな小包が届きました。早速いそいそとうれしそうに小包を開いています。

次の瞬間、机の並びの関係上後ろ姿が見えない私からも、その背中がピタッと止まったのがわかりました。

一瞬にしてあたりに不穏な空気が漂います（笑）

『どうしたん？』との私の問いかけにゆっくり、ゆっくり振り向いた彼女の顔はなぜか涙でぐちゃぐちゃです！

『何や？』びっくりして、かけ寄ったところ小さな箱には、かわいらしい小さな花束が『おかあさん、いつもありがとう！』遠く離れて一人暮らしする娘からの母の日の贈り物だったのです。

実は我が家の山の神、一瞬で泣けることでも有名です。さだまさしの歌う案山子という曲を聞いた時、たった二小節で号泣できる特殊な技を持っています。

しかし、今回は早かった。二小節どころではなかった…。

離れていても母と娘、もしかすると昨年に送り出してから最も家族のきずなを感じた瞬間だったかもしれません。

## 京都 YMCA 創立 125 周年記念 ユニバーサル映画会 『RAILWAYS』を鑑賞して

岡本 都

5月10日(土)午後2時より、同志社寒梅館ハーディーホールに於て行われた映画会『RAILWAYS』を鑑賞いたしました。

視覚に障害のある人や難聴者・高齢者が一緒に映画を楽しむ様に、セリフを字幕で入れたり、画面の情景や場面展開にはナレーション(音声ガイド)で説明して、わかりやすく理解していただける様にするのが「バリアフリー上映」というそうです。

映画の内容は富山立山連峰を背景に走る鉄道マンの、定年を控えた夫婦の機微を支えた物語ですが、目をつむって鑑賞しても情景が想像されるものでした。

この映画会は京都YMCAが企画されましたが、ナレーションや字幕は「京都リップル」によるもので、この団体は大学で学ぶ障害のある学生に対する支援状況の改善を目標に、2003年3月に設立されました。

私達は映画会を通して、障害のある人について益々理解を深めていくことが求められていると感じました。

## 第2回 マージャン&オセロ大会

椿 森 昌 史

5月17日(土)ファンド委員会の今期最終のイベント「マージャン&オセロ大会」が開催されました。今回の食事は申揚げ、準備では材料を串に刺し、衣を絡めてパン粉をまぶすのに、具材が抜けたりバラバラになったり悪戦苦闘していたのですが、終わるころには手際よく玄人並?になったような気がします。

メインのマージャン大会は、参加者7名(仁科、菅原、田中(雅)、幡南、森(繁)、山口(雅)、椿森)、3人打ちの2卓で競技開始です。

私は3人打ちなので、皆さん手が早いなと思い、点数の小さい役でもコツコツ上がるようにした結果、並み居る強豪をよそに、優勝してしまいました。

嬉しいのですが、諸先輩方の目が気になって、大きくは喜べません、頭の中でガッツポーズです(笑)。

2位も私と同じファンド委員の森繁樹さん、今回はファンド委員に少しツキがあったようでした。

マージャン以外の皆さんは、オセロをすると思いきや、飲んで食って、しゃべって笑って、楽しい時間を過ごされていました。

## 第4回リトセン・メタセコイヤ・フェスティバル

勝山 廣一郎

5月25日(日)午前10時30分、快晴、西川さんの司会にて開会しました。

金原会長の開会のご挨拶、瀬本委員長より飲食・各ブース・トイレの説明があり、京都YMCAリトセン所長・藤尾様のご紹介。所長よりリトセン施設の案内がされました。

参加各団体、みつくすはあつ、ベテスタの家、こおろぎ、虹のつばさ、大山医院グループ、森本榮三様(大阪高槻クラブ)のボン菓子、協賛企業(食材提供)の方々の紹介。

歌の時間では、昨年に続き、「ゆのとうちあきら」様でオリジナル曲を含めて数曲ご披露していただき、心地よいひと時でした。餅つき大会では多くの子供たちも参加し、二白もあつという間につきあがり、会場内が盛り上がりました。

賛美歌、食前感謝、そして食事歓談、百数十人の参加者をもてなす各担当ブース(バーベキュー、やきそば、焼き鳥、ハム・パン、ピザ・ドーナツ、ボン菓子、餅つき、アイス、綿菓子、鯛めし、ドリンク)大忙しです。

食後は子供ゲーム大会・輪投げ、アトラクション・宝探しゲーム、クイズゲーム、スイカ割り、こおろぎグループの歌、フィナーレでは「ゆのとうちあきら」と全員で「今日の日はさようなら」を合唱。金原会長の感謝の言葉で閉会しました。

前日と早朝よりご準備をして頂いた担当委員の方々有難うございました。

キャピタル参加者 メン・メネット・コメット、ゲスト  
計34名

## HAPPY BIRTHDAY

メン	山田 英樹	6月14日	瀬本 純夫	6月17日
	幡南 進	6月23日	田中 升啓	6月28日
	八木 悠祐	6月29日		
メネット	田中 淳子	6月8日	大山 悠子	6月11日
コメット	石村 拓也	6月3日	石倉 京	6月12日
	八木 茉耶	6月13日	志田知奈津	6月29日

石村拓也さん、志田知奈津さん、お誕生日おめでとうございます！  
今期で20歳以上の方の掲載はしない事となりました。これからもご活躍をお祈りしております。

## HAPPY ANNIVERSARY

倉見 直樹・享子	ご夫妻	6月1日
長谷川幸昌・絵理	ご夫妻	6月3日
田中 雅博・淳子	ご夫妻	6月4日
安部 英彦・智子	ご夫妻	6月17日

### 聖句の解説

ある方が、タイ国ハンセン病コロニーでの青年ワークキャンプに参加されこのように記されています。「3日目の昼食後、ホールに5人の元ハンセン病の老人たちが集まっていた。足の治療を受けにきていたのだ。同時にそれは、我々の前に変形してしまった足をさらすことでもあった。彼らは、日本とタイの若者たちにハンセン病の後遺症の実態を自らの体で示して下さっているのだ。彼らがどのような思いでこの場に座って下さっているのかを考えると胸ふさがれる思いだった。このような手足のゆえに、長い間厳しい差別と蔑視の目にさらされてきたのだ。決して愉快的な思いで自分の足をみんなの前に出しているわけではないだろう。しかし彼らは、淡々とありのままに我々に接して下さっている。

彼らから、『自分たちが負ってきた様々な困難を、ありのままの姿の中から学んでほしい、この現実も神の業だと信じているのだから…』とのメッセージを受け取る。その日の礼拝で、牧師は我々に語りかけた。一人一人はかけがえの無いものとして必要とされている。力弱いものも、病を得ているものも、知恵あるものも、力あるものも、それらはみな神様の賜物なのだ。大切なことは、与えられた賜物の全てを受け入れること。そしてその賜物をみんなで分かち合い、他者のために用いるのだ。これが人が生きていくことなのだ…人は一人では背負いきれない大きな重荷を担って生きていかなければならない。神は、私たちが互いに愛し合い、仕えあって、共に歩むことを命じておられる。」

## 第11回 役員会議事録

2014年5月27日(火) 19:00~21:00  
ウェスティン都ホテル京都 平安の間

〈西日本区・京都部報告〉 6月7日(土)東日本区大会 浅草公会堂 懇親会：浅草ビューホテル 登録費19,000円(8日は礼拝・エクスカージョン)／6月14・15日(土・日)西日本区大会 シンフォニア岩国、懇親会：岩国国際観光ホテル 登録費：18,000円／8月7日~10日 国際大会 インド(チェンナイ)／6月8日(日)第4回京都部評議会

〈YMCA 報告〉 特になし

〈三役会報告〉 YMCA 維持会費の件／ケールビズの件(6月第一例会、7月以降は次期の判断)／アジア大会 ユース委員会の件→ユース委員長は香山さん(次期会長説明会 5月30日菅原・金原出席予定)／下半期報告・決算報告作成のお願い

〈各事業委員会報告〉

- YMCAサービス・ユース事業委員会 「第15回京都YMCAリトリートセンター夜桜フェスタ」「YYYフォーラム」「第10回京都YMCAかもがわチャリティーラン」について決算等報告。／「京都YMCA125周年記念ユニバーサル上映会」について報告。
- 地域奉仕・環境事業委員会 「メタセコイヤフェスティバル」について確認。
- ドライバー事業委員会 5月例会の報告ならびに6月例会の内容を確認。
- 交流事業委員会 IBCの現状についての報告と引継ぎ事項の確認。
- ファンド事業委員会 各種ファンドの履歴について確認。／「母の日カーネーションファンド」等について報告。
- 広報・ブリテン事業委員会 ブリテン6月号骨子の確認。
- EMC事業委員会 「4月第二例会メンバーゲスト」の進捗状況及び次期への引継ぎ事項の確認。
- メネット会
- 30周年記念委員会
- 引継 PT PTメンバーについて報告ならびに予算の確認。

〈審議事項〉 渡邊博子さん退会の件 承認

〈その他〉

第12回三役会 6月19日(木) 於：未定

第12回今期・次期合同役員会 6月24日(火)

於：ウェスティン都ホテル京都 平安の間

### 編集後記

今期、最後のブリテンとなりました。今期は行事も多く、本当に皆様に原稿、写真と大変助けていただきました！ 初めての委員長でしたが、皆様のおかげで楽しく委員長をさせていただきました。本当に有難うございました！

広報・ブリテン委員長 山口 恵

